



# 業界情報の紹介コーナー

## 2026年3月の知っていた方がよい情報（月刊）第55号

### 1. 【2026年2月の国内新車販売台数について】（前年比プラス表示）

**国内新車販売台数は、前年比3.5%減と2カ月連続の減少**

順位	ブランド	2月	1～2月累計	順位	ブランド	2月	1～2月累計
1	トヨタ	116,754(▲8%)	232,761(▲8%)	8	スバル	8,323(▲20%)	16,114(▲14%)
2	スズキ	63,698(▲6%)	124,561(▲3%)	9	いすゞ	6,631(7%)	12,035(4%)
3	ホンダ	54,416(▲5%)	103,827(▲4%)	10	レクサス	5,493(▲11%)	12,541(1%)
4	ダイハツ	49,045(18%)	94,296(15%)	11	日野	3,051(▲8%)	5,674(▲12%)
5	日産	41,375(0%)	76,671(▲5%)	12	三菱ふそう	2,293(12%)	5,130(27%)
6	マツダ	13,287(▲19%)	24,944(▲15%)	13	U D	1,031(8%)	1,901(5%)
7	三菱	11,819(14%)	21,702(6%)				

※4月から取得時に課税される「自動車税環境性能割」が廃止に向け動いている為、届け出をずらす動きが出た（新車登録・届け出：先送り希望のユーザーが増加した）（ガソリン車が課税対象、価格の～3%）  
 （トヨタ系ディーラーの中には、保管場所管理コストやバッテリー上がりの懸念も出ている）

### 2. 【2026年1月の中古車輸出台数と2カ月連続プラス】115,744台（23%増）

- ・ロシアやニュージーランドが回復 ・中東やアフリカ向けが好調を推移
- ・1位 UAE4%増： 2位ロシア 45%増： ニュージーランド50%増

### 3. 【2026年1月の国内中古車登録台数は2カ月ぶりのマイナス】212,198台（1%減）

- ・軽自動車はプラスを確保したが、トータルでは及ばなかった（仕入難の懸念有り）

### 4. 【レバレート（整備技術料）アップに向けた動き】

- ・ディーラーと兼業、専業工場の格差が大きいとされている  
 （ディーラーH 約1万円に対し兼業工場約8千円：専業は各7千円となっている）  
 （課題としては、自社でレバレートを出しても同業他社との足並みもあり低く調整）  
 引き上げ幅は、10%～15%を見ているが、部品高騰もあり難しい状況が続く  
 ある工場では、新整備に伴って車検基本料やOBD 検査料などでの引き上げの理解を進める  
 また、整備関連サービスを有料化に向けた検討も進んでいる

